

令和6年度 社会福祉法人こうち福祉会事業計画（案）

障害福祉サービス事業 : ライフ・ステージ あおぞらセンター（定員 30 名）

ライフ・ステージ 蒼空舎（定員 40 名）

ライフ・ステージ 第2 あおぞら（定員 20 名）

ライフ・タウン あおぞらホーム（定員 104 名）

ライフ・タウン 蒼空舎（定員 9 名）

相談支援事業 : ライフ・サポート あおぞら

いきいき工房 クッション、菓子袋詰め、薬味入れ、乾燥こんにゃく

ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

1、人員について

メンバー 14 名：支援員 2 名

- ・作業レベルへの継続的な支援を行っていくと共に、生活支援にも目を向けて取り組んでいく。
- ・大勢のメンバーと作業する事が困難となったメンバーに応じて個室を利用し、落ち着いた空間を作る。様子を見ていき、メンバーの状態に配慮した対応を行っていく。また、強度行動障害研修で得た支援方法を実践していく。

2、メンバー活動

- ・様々な感染症対策をするため、毎日の検温、手洗い、うがい、消毒を習慣にし、日々の体調管理を行い健康な生活を送れるよう、見守り、声掛けを行う。また、マスク着用ができるメンバーについてはマスク着用の声掛けをする。
- ・栄養バランスの良い昼食を提供し、毎日作業に取り組める体づくりを目指す。
- ・歯の健康を保てるよう、歯磨きの際、見守りを行い必要に応じて仕上げ磨きを行っていく。
- ・社会人としての身だしなみを心掛けるよう、髭剃りや散髪、季節や場面にあった服装について声掛けを行う。
- ・毎朝の 30 分の散歩と、月に 2～3 回の体操教室や歌の時間も含む余暇活動を充実させ、作業と休憩のメリハリをつけながら、より良い作業環境を整えていく。
- ・各自の作業出来高が日により大幅に違うこともある為、メンバー同士の連携がスムーズに行く様に支援を行い、作業効率を上げていく。
- ・作業内容が数種類あるため、それぞれの納期に間に合うよう作業予定を組み立てていく。
- ・日々のコップ洗いや洗濯、掃除など生活に必要なスキルが身につくよう、一緒に取り組んでいく。

3、作業内容

(1) 受託製造（環境機器）

- ① すいとる S ②すいとるシート ③すいとる L ④PE シート
⑤ 2L オイル ⑥ 5L オイル

※令和5年度作業量参考（3月分は未確定）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
すいとる S (箱)	15	12	23	6	24
すいとるシート (箱)	3	0	0	0	4
すいとる L (箱)	0	0	0	0	3
PE シート (枚)	0	0	0	0	0
2L オイル (箱)	0	35	0	17	8
5L オイル (箱)	0	26	9	20	24

	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
すいとる S (箱)	20	18	22	25	18
すいとるシート (箱)	0	0	0	0	0
すいとる L (箱)	16	0	0	0	0
PE シート (枚)	0	0	0	0	0
2L オイル (箱)	0	10	1	15	20
5L オイル (箱)	0	20	6	14	22

	2 月	3 月	年間合計	収入合計	クッション 総合計収入
すいとる S (箱)	24	1	207	372,600	545,000
すいとるシート (箱)	4	1	11	17,600	
すいとる L (箱)	6	15	25	37,500	
PE シート (枚)	0	0	0	0	
2L オイル (箱)	15	0	101	72,600	
5L オイル (箱)	8	0	149	44,700	

※留意

こまめに換気を行い、マスク、白衣、作業帽子の着用を徹底し、ホコリ対策に力を入れていく。
また、11月～3月は繁忙期を迎えるため納品時期に間に合うよう資材の発注を早めに行い、資材の確保に努める。

(2) 内職作業（菓子袋詰め、だしパック袋詰め）

- ① ミレービスケット×芋ケンピ袋詰め
- ② 土佐の生姜飴袋詰め
- ③ 鰹だしぱく（ゆず皮入り）

※令和5年度作業量参考（3月分は未確定）

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ミレービスケット ×芋ケンピ（袋）	6,001	3,581	3,591	4,805	3,612	2,396	3,604
土佐の 生姜飴（袋）	0	902	0	0	902	901	903
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	収入合計
ミレービスケット ×芋ケンピ	4,793	4,806	2,409	0	1,199	38,388	1,477,938
土佐の 生姜飴	901	904	905	896	0	6,309	138,798
だしパック	574	550	0	592	0	1,716	56,628

1, 673, 364

※留意

食品を取り扱っているため別室で作業をしていく。ネット帽子、白衣を着用し、手洗いやうがい、消毒は元より室内に入る前の埃取り（ローラー）、作業専用のスリッパに履き替えて行う。また、衛生面全般として爪切りや入浴の声掛けも行っていく。

いきいき工房内だけでなく、センター2階全体の作業として協力して取り組んでいく。

(3) 内職作業（薬味入れ）

※令和5年度作業量参考（3月分は未確定）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
0	6,000	6,000	7,000	0	2,000	4,000	8,000
12月	1月	2月	3月	合計数		収入合計	
5,000	0	4,000	0	42,000		168,000	

※留意

手洗い、うがい、帽子・マスクの着用の習慣化、また作業開始前には必ず作業台を拭き、薬味入に必要な道具を準備していく。数日間の集中的な作業になるが故に、その間のクッションや箱折りの作業がストップしてしまう。薬味については、数え間違いや入れ間違いを起こしやすい為、正確に行うように声掛けをし、再度支援員が点検を行う。保管には細心の注意を払う。

(4) 内職作業（乾燥糸こんにゃく）

※令和5年度作業量参考（3月分は未確定）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
50	0	0	0	12	50	75	1
12月	1月	2月	3月	合計数		収入合計	
30	59	0	0	227		43,489	

※留意

生協においては納品時期がおおよそ見込めていたが、「声に答えて」という企画商品である。個別購入は不定期のものなので、それにすぐ対応できるだけのセット数と糸こんにゃくの在庫は最低限確保しておく。コープしこくポータルサイトにて納品に至るまでの商品確認や発注書確認を行うこととなっている。定期的にサイトを確認し、確認漏れのないよう留意する。販売数が年々減少傾向にあり、よさこい工房や第2あおぞらでの販売、給食の利用で在庫の回転に努めている。

4. 目標売り上げ

いきいき工房全体の令和6年度売上目標は2,500,000円とする。

5. いきいき工房の課題

全体的に、重度利用者、歳を重ねている利用者が多くなってきている。作業ができる利用者とできない利用者の差が大きく、負担が重くなっている事も考えられる。作業工程を細かく区切る等の工夫をし、作業提供をしていく必要がある。

また、作業だけでなく、余暇活動も取り入れているため、全員が楽しめる内容を考えながらメリハリをつけた日中活動を提供していきたい。

あおぞらカントリー 畑ばたけ

継続B ライフ・ステージ 蒼空舎
生活介護 " あおぞらセンター

支援員：宮内 知志、川村 哲也、伊東 昌彦、谷脇 豊実、井垣 英子

1. 人員について

メンバー	あおぞら	6人	蒼空舎	9人	計	15人
支援員	あおぞら	2人	蒼空舎	3人	計	5人

活動内容

ニラ調整作業・きくらげ栽培・原木椎茸栽培・花卉栽培・露地栽培・果樹栽培

2、利用者活動

メンバー1人1人が有意義な日中生活を送れるよう、次の事に気をつけて支援していく。

- ・現在も続く感染症の影響を加味し、出勤時、退所時、作業中の衛生面、体調面を気に掛ける。また、畑での作業中、特に暑い時や寒い時は、十分に配慮する。
- ・道具などを使う場合は、いつも以上に周りに気を配るようにし、取扱いに十分気をつける。また、正しい使い方を教えて行く。
- ・個々に見合った目標を持たせ、スキルアップを目指す。
- ・生産活動を通し、人前での礼儀、挨拶、協調性など、社会性を身につける。

3、農業生産

① 露地栽培 売り上げ目標 1, 300, 000円

- ・サツマイモ・白菜・大根・人参・玉ねぎ・赤しそ・トウモロコシ・ニンニク(試験栽培)・生姜(試験栽培)をメインに栽培をする。

② 果樹栽培

主に加工用として栽培。伊野町八田地域に桃・梅・柿・文旦を植栽中。西ノ谷のハウスにて、水晶文旦・レモンを栽培中。

例年以上に、圃場管理、栽培管理を徹底していき少しでも早く実をつけることが出来るよう管理していく。

③ 花卉栽培 売り上げ目標 2, 000, 000円

職員2名(露地栽培と兼務)で活動を行っていく。年々、気候変動の影響で生産が難しくなっている。経験を元に栽培をするだけでなく、その時期の気候を読み取り、播種時期の間隔を調節しながら栽培をしていくように心がけていくようにする。それぞれのメンバーの特性を考え、適切な作業を提供していき生産性の向上を目指していく。城西公園花壇、わんパークこうち内プランター、高知市内保育園、小中学校、高知大学購入分の花苗生産、良心市販売等の販売数を見越した生産をしていく。

令和5年度途中より、高知灯台広場にプランター80台を設置し維持管理する仕事を高知市観光企画課の入札で落札し、令和6年度も継続していく予定である。

④ 原木椎茸栽培 売り上げ目標 3, 000, 000円

- ・職員2名(きくらげ栽培と兼務)

今年度の楢木は令和4年度に植菌した原木5,000本からがメインで発生する。

発生が始まるまでに古楢木の処理、ハウス内の清掃、雑菌・害虫対策、楢木の移動を行い10月に発生操作をし収穫、販売に繋げていく。

メンバーの作業については、重量物の運搬が多く、メンバーの安全管理を徹底する。

近年、不安定な気候が続く、栽培管理に関し難しさを感じるようになってきているので技術向上に取り組む。

⑤ ニラ調整作業（野市青果委託） 売り上げ目標 3,000,000円

仕上り30箱の目標に向けて、利用者6名職員3名で行っている。

ニラの状態により出来高が左右されることが多い。また、植替えや成長待ちで休みになる事がある。状態の良い時に目標以上に取り組む事で貯金を作り目標の売り上げを実現していく。

資材に関しては、委託業務なので必要なものは支給してもらえる。

購入するものは、作業手袋、ポンプ用オイル等になる。

※作業賃 1束10円 1箱50束 500円

⑥ きくらげ栽培 売り上げ目標 1,000,000円

・職員2名（原木椎茸栽培と兼務）

今年度は1,200床（4月480床、5月384床、7月336床）を導入し栽培をしていく。

昨年度より240床増やし且つ栽培期間を延ばす事により、販売期間も長くなり販路拡大にも繋げていく計画である。

今後、課題でもある作業が出来るメンバーを育てていく事、栽培時における暑い時期による高温障害や害虫対策、乾燥品販売に取り組む計画も進めていく。

畑売り上げ目標総計 10,300,000円

4、留意

- ・作業時、第一にメンバーの安全面への配慮はもちろん職員自身も心がけるようにする。
- ・作業に対し出来るだけ滞ることのないよう職員のスキルアップ、より効率的に作業を行なえるよう環境を整備していく。

よさこい工房 食品加工

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター
就労B " 蒼空舎

営業チーフ：天野 陽太

1、人員について

- ① メンバー 4名
- ② 職員 4名 パートタイム 1名

2、利用者活動

- ① メンバー1名増員
- ② メンバーそれぞれの力量に合わせ、出来ることを増やしていく。
下処理から最終製品までの工程のすべてに携われる力量をもったメンバーを1名育成。
下処理、計量・瓶詰・ラベル貼りを一人で完遂できるメンバーを1名育成。
下処理を中心に、瓶詰・ラベル貼りを一通りできるメンバーを1名育成。
下処理、ラベル貼り・清掃が丁寧にできるメンバーを1名育成。
- ③ 必要な報告・連絡・相談ができるようにする。
- ④ 丁寧な作業を持続してできるようにする。
- ⑤ 衛生管理および作業手順の教育を定期的に行う。

3、製造について

- ① 製造工程の妥当性を吟味し、生産力の向上を図る。
- ② 商品の在庫確保のため計画的な製造を行う。
- ③ 新商品・仕様変更・レシピ変更を検討し、商品の進化を図る。
- ④ 衛生管理を徹底し安心安全な商品の製造と、クレームゼロを目指す。
- ⑤ 常に整理整頓をし、事故やケガの防止に努める。

4、営業活動について

- ① 積極的に商談会へ参加し、業界の流れやトレンドなどの情報を入手する。
- ② 販促物を充実させ「売れ筋商品」の売り上げアップを図る。
- ③ 原価計算の妥当性を検証し、原価の圧縮を図る。
- ⑥ 顧客との情報交換で、マーケットの需要を把握する。
- ⑦ 業務の省力化の推進。
- ⑧ マニュアルや手引書を作成し、営業業務の汎用性を高める。
- ⑨ HPのコンテンツを強化し、商品のこだわりポイントや魅力をPRする。
- ⑩ ECサイトを活用し、非対面での販売を強化していく。

5、R6年度売上目標 17,000,000 円

R5年度目標 15,000,000 円に対し、見込 14,070,176 円と未達。前年比は 120%増。

コロナ渦の影響が薄れ、全国的に購買需要が戻ってきていること、NHK ドラマで高知への注目が集まり、観光客やフェアが増えたこと、高知県が関西及び首都圏への外販活動に力を入れていることなどが要因で、売上が伸びたと思われる。

来期は既存・新規顧客へのアプローチ、インターネットでの販売等を強化し、売上目標達成を目指す。

主要取引先及びその他	令和 3 年実績	令和 4 年実績	令和 5 年見込	令和 6 年目標
高知県特産品販売	1,227,420	1,741,647	2,058,035	2,400,000
白石味噌	358,549	542,052	501,300	600,000
とさのさとアグリコレット	501,767	825,387	762,689	1,000,000
高知県食品外販協同組合	580,008	850,274	1,821,565	2,100,000
五味商店	2,098,752	1,295,472	2,083,551	2,400,000
その他	5,077,399	6,457,164	6,843,036	8,500,000
合計	9,843,895	11,711,996	14,070,176	17,000,000

- ・ 主要取引先である「高知県特産品販売」「白石味噌」「高知県食品外販協同組合」「五味商店」へのコミュニケーションを増やし、先方のニーズを読み取り応えていくことで取引量を増やしていく。
- ・ 委託販売先である「アグリコレット」では、ポップ販売の強化や商品の PR に力を入れ、更なる観光客及びリピーターを獲得していく。
- ・ 商談会への効果的な参加で、自分たちに合った新規顧客を獲得していく。
- ・ R5 年度に取引スタートした新規顧客へしっかりとアプローチし、取引量増を図っていく。
- ・ HP、EC サイトを強化し、ネットショップでの販売量を増やしていく。

6、課題と対策

① 人手不足による作業負担の増加

→作業工程や作業内容を見直し、効率化・省力化を図る。また、既存のメンバーの力量をアップさせると共に、新たなメンバーの増員を図る。

② 原価高騰による仕入れ価格の高騰

→仕入先とのコミュニケーションや新しい仕入先を検討するなどし、原価を管理していく。
また、必要な部分は随時売値の値上交渉を図っていく。

③ 顧客情報や価格設定が不均一の為、管理が煩雑になっている

→価格やルールの一貫化、システムによる管理体制を強化していく。

④ 法人としての商品ブランド戦略が乏しい

→各関係部署に協力を仰ぎ、法人として一貫性のある商品ブランドを構築していく。

⑤ 生産力不足

→リードタイムの交渉、注文数予測、高付加価値ニーズのある顧客の獲得、作業工程の工夫、勤務シフトの工夫、設備投資などの案を検討していく。

1、人員について

メンバー：16名 支援員：3名

メンバーの力量に合わせた作業を見極めながら、作業能力の向上を目指し日々の見守りや声掛け支援をしていく。よさこい工房にて作業をしている4名についても、作業能力の向上が出来るように支援を行っていく。特別支援学校からの実習生も積極的に受け入れを行っていく。

2、利用者活動

- ・日々の体調管理の為、玄関での検温、消毒を継続していく。体調不良があった場合、検温等適切な支援を行う。
- ・職員、メンバーともに ISO9001 の取り組みを理解し、定期的な手洗い等の講習を取り入れ、衛生面の向上を目指す。
- ・年一回健康診断を実施し、メンバーの体調管理に役立てていく。
- ・力量一覧表を作成し、出来る作業、出来ない作業がメンバーに分かりやすいように説明し支援をしていく。

3、作業内容

主な取引先

① サニーマート総菜工場

売り上げ目標 4,500,000円

- ・野菜の下処理、冷凍の計量袋詰め、粉の計量袋詰めを行っている。
- ・メンバーの作業精度の向上を目指すことで、様々な作業に対応できるように支援をしていく。

② 北川村ゆず王国：ゆずトリミング

売り上げ目標 3,500,000円

- ・ゆずの酢袋取り、皮のトリミングを行っている。
- ・朝から作業に入れるようにメンバーを配置していく。

③ やまくに：いりこ割、いりこ粉計量作業

売り上げ目標 400,000円

- ・いりこを割り内臓、エラを取り除く作業を行っている。
- ・細かい作業を出来るメンバーが限られているが、配置を検討し安定した作業量を目指す。

④ よさこい工房：生姜皮剥ぎ・スライス、文旦皮スライス

売り上げ目標 100,000円

- ・生姜のスライス、文旦の皮のスライスを行っている。
- ・スライス作業をメンバーが出来るように、職員と一緒に繰り返し作業することで作業能力の向上を目指す。

作業総売り上げ目標 8,500,000円

4、課題

- ・欠席等で人数が少なくなっても対応が出来るように、一人一人の作業能力の向上を目標としている。
 - ・一般就労を視野に入れ、社会人としての言葉使いやマナーが身につけられるように支援していく。
 - ・手洗いの徹底等、基本的な衛生管理を継続して行う事が出来るようにしていく。
- いく必要がある。

あおぞらファクトリー あみおり工房

就労B ライフ・ステージ 蒼空舎
生活介護 あおぞらセンター

サービス管理責任者：黒沢 圭子

1、人員について

① メンバー

あおぞら籍 10名 蒼空舎籍 10名 計 20名

＊現在、蒼空舎にて、畑メンバーを1名、実習で受け入れを行っている。

② 支援員

センター籍 4名 蒼空舎 3名 計 7名

2、利用者活動

メンバーの作業は、大きく自主製品グループと下請けグループの2つに分かれる。顧客からの注文に柔軟に対応をしていけるように、在庫確保に計画的に取り組んでいく。メンバーへの支援については、支援員一人ひとりが障がい特性を理解し、共通認識のもとメンバーが安定して過ごせるように支援を行う。日々の検温、手洗い、健康管理等を継続し、今後も感染対策を徹底していく。

3、 作業内容

① 作業用軍手の製造販売

売り上げ目標 10,100,000 円／年

- ・ 毎月の売り上げ分析を実施する。
- ・ リニューアルしたホームページを活用し、新規取引先確保に取り組む。
- ・ 利益率が高い商品の販売強化。セミオーダー品への対応。
- ・ 令和 6 年 4 月に中古編機を導入し、製造力のアップ、休日運転を減らしていく。

② 下請け作業（防寒用手袋作業）

売り上げ目標 400,000 円／年

- ・ 温暖化、安価な中国製の影響で、作業量が半減すると言われており、十分な作業量が確保できないと思われる。
- ・ 作業量確保の為に靴下作業にも取り組む。

あみおり工房合計目標 10,500,000 円／年

③ 仕入れ（原材料費、編機部品等）

5,000,000 円（令和 5 年度実績より算出）

4、 販売管理システムの導入

高知市障害福祉分野の I C T 導入モデル事業費補助金を活用し、あおぞら、蒼空舎それぞれに、パソコン 3 台を導入する。そのパソコンを利用し、販売管理システムの運用をスタートする。現在は、オンライン指導を受け、5 月までに本格稼働を目指す。

- ・ あおぞらと蒼空舎双方の在庫数の共有。
- ・ 帳票の自動化による業務削減。
- ・ 売り上げ分析による販売強化。

5、 課題

① 原価を抑える努力をする。

- ・ 不良率を抑える。
- ・ リサイクル糸の活用。
- ・ 値上げ前の一括仕入れ。

② 個別の対応が必要なメンバーへの支援。

- ・ 専門家への相談。医療との連携。

グループ就労

シーサイドホーム桂浜・つむぐ ……………メンテナンス業務

1、人員について

メンバー4名 支援員1名

メンバーの課題に応じた取り組みで目標を達成できるようサポートができる体制づくりをしている。急なメンバーの欠勤でも他のメンバーが対応に困ることなく作業を継続できるよう日ごろから体制を整える。

支援員の応援体制についても、作業マニュアルを利用し、業務を継続する体制を整える。また今後の状況に応じて、新たなメンバー育成も検討する。

2、利用者活動

- ・磨き残し、はき残し、拭き残しをなくし、丁寧な取り組みを意識できるよう支援をする。
- ・急な作業変更があっても作業手順や作業場所を間違えずに取り組みが出来るよう支援をする。
- ・委託先への挨拶やお礼、活動への配慮が出来るよう支援をする
- ・メンバー同士のトラブルや作業中の怪我、健康状態等の問題は個別に迅速な対応をして解決をする。
- ・感染対策として、入室前の検温、マスクの着用、手洗い消毒等、食事前うがいの確認を徹底する。感染が発生した際には委託先施設長及び管理者の指示に従い対応をする。

3、移行活動

① グループ就労支援

シーサイドホーム・・・毎週水・日曜日 1月1日 2日 公休日

つむぐ 勤務時間は、9:00～16:30

作業道具等はシーサイドホームが負担する。

委託費 2,880,000 円／年

240,000 円／月 (シーサイド 120,000 円 / つむぐ 120,000 円)

② 単独就労支援

ハローワークに本人訪問、研修、面接、実習等の機会を設定する。就労への移行を支援する。

③ 他機関との連携

必要に応じて、障害者職業センターの職業訓練等を活用し、就労へ向けて支援する。また、合同面接会への参加も検討する。

④ 一般就労について

平成 28 年 5 月に病院の清掃業務で一般就労をした 2 名については、B 型（1/w）との併用利用をしていたが、現在週 5 日勤務となり一般就労のみになっている。今後は、一般就労先との連携を図りながら継続して支援を続けていく。

4、留意

- ・緊急時の連絡先は、蒼空舎とする。
- ・各々の業務については担当者を配置して、委託先との連絡、調整を行っていく。
- ・担当者は委託先やメンバーの状況に応じた作業活動を提示し、メンバー個々の支援、業務水準の維持に努める。問題が発生した際は管理者に報告し、対応していく。

ライフ・ステージ 第2 あおぞら

（リサイクルショップ、あおぞらショップ、バザー、メール便）

就労B 第2 あおぞら

管理者：下元 真人

1、人員(事業所全体)について

- ・利用者 20 名に対して、常勤職員 4 名（サビ管含む）の体制とする。

2、利用者活動

- ・作業を通して社会性を身につけてもらい、利用者の主体的な地域生活と自己実現に必要な支援を実施する。
- ・利用者が主体となる作業を提供することで、それぞれの能力や特性に応じた地域社会での役割を創出し、働く喜びや達成感を持てるよう支援する。
- ・それぞれの障害や心身の状態を理解し適切な支援を行うことで、健康の維持及び増進に努める。
- ・メンバーの自己決定の機会を保障するとともに、基本的人権を尊重し、虐待、差別等の不適切な行為、権利侵害を未然に防止する。

3、作業内容と売り上げ目標

① リサイクル販売の取り組み 売り上げ目標 2, 6 0 0, 0 0 0 円

（実績…令和 3 年度 2,911,800 円 令和 4 年度 2,273,400 円 令和 5 年度見込み 1,970,000 円）

令和 6 年度に取り組むべきこと

（令和 6 年度をリサイクル事業の立て直しの年としたい）

お客様や地域の人からご意見をいただき、下記内容を職員で話し合った。

- ・価格を明確にする。
- ・商品を出し惜しみしない。

- ・お客さん一人一人に寄り添うような接客を心掛け、地域のお年寄りが来やすい雰囲気にする。
(開所当時の原点に返り、地域密着、地域貢献を第一に考える)
- ・チラシを配り、新規顧客の開拓に努める。
- ・メンバーが管理しやすい店舗づくりを心掛ける。
- ・店舗だけでなく、事務所を含む事業所全体の清掃、整理整頓に努める。
- ・同じ建物の空き店舗(喫茶店)を借り、有効活用する。

苦情やご意見をお客様、地域の方々からのアドバイスと受け止め、職員の意識改革を促し、危機感をもって職員とメンバーが一丸となり、リサイクル事業の再建に努める。

② 食品販売の取り組み 売り上げ目標 300,000円

(実績…令和3年度 164,420円 令和4年度 270,980円 令和5年度見込み 289,400円)

- ・感染対策をしっかりとったうえで学校等への営業活動を再開する。
- ・商品ロスを考えて店舗在庫は置かず、注文販売とする。

③ 清掃作業 売り上げ目標合計 1,700,000円

(実績…令和3年度 1,830,024円 令和4年度 1,229,670円 令和5年度見込み 1,704,675円)

内訳

アイフル店舗 売り上げ目標 90,000円

- ・時間をかけ、丁寧掃除を心掛ける。

芸術学園(週一回・一時間程度) 売り上げ目標 120,000円

- ・職員一名、メンバー5～6名での取り組みとする。

ケアハウス土佐(週五日・半日) 売り上げ目標 960,000円

- ・高齢者施設ということもあり、感染対策を徹底して取り組む。
- ・金曜日はお湯の入れ替えのため職員二名体制とする。
- ・メンバーの担当個所を入れ替えることで、個々のスキルアップを目指す。

ゴミ、不燃物等の片付け、清掃、草引き等の請負

売り上げ目標 530,000円

- ・地域の公園管理について町内会と話し合い、検討する。

④ ダンボール、金属等の回収 売り上げ目標 220,000円

(実績…令和3年度 174,580円 令和4年度 148,960円 令和5年度見込み 199,340円)

- ・金属の価格が高値で安定している。古くなったスチール机、ロッカー等の回収に積極的に取り組む。

⑤ フリーマーケット(出店料収入) 売り上げ目標 250,000円

(実績…令和3年度 107,000円 令和4年度 127,500円 令和5年度見込み 55,500円)

- ・新しい出店者を増やしていく。
- ・月一回を目標として開催する。

⑥ 配達便の取り組み

売り上げ目標 350,000円

(実績…令和3年度 177,070円 令和4年度 163,363円 令和5年度見込み 190,000円)

- ・郵便局との契約に伴い配達冊数増が期待できる。配達の効率化を支援する。
- ・信頼されるよう、誤配達等ミスのないように支援する。
- ・配達先はもとより、地域の人への挨拶等を徹底する。

⑦ 自販機収入

売り上げ目標 80,000円

(実績…令和3年度 49,831円 令和4年度 70,170円 令和5年度見込み 78,000円)

- ・自販機周囲のこまめな清掃を心掛ける。

総売り上げ目標

5,500,000円

(実績…令和3年度 5,414,725円 令和4年度 4,284,103円 令和5年度見込み 4,386,000円)

工賃について

こうち福社会

工賃については、各事業の授産収入から必要経費を差し引いたものを、各事業に従事したメンバーに配分をする。また、基本給については、工賃評価基準表に基づき10段階評価し、皆勤賞をとりいれ、支給している。評価については1年に1回行うものとする。但し、必要がある場合は、随時、評価の見直しを行う。

こうち福社会

工賃支給規定

ライフ・ステージ あおぞらセンター

蒼空舎

第2あおぞら

(目的)

第1条 この規定は、利用者に対して授産収入を工賃として配分するための基準を定めるものです。

(定義)

第2条 工賃とは、授産収入から授産事業に必要な所定の経費を差し引いたもので、給料として支給することにより、労働意欲を高め、生活に潤いを与え、地域生活への移行助長を図るものです。

(工賃の種類)

第3条 工賃の種類は、職能給、諸手当及び賞与とします。

- 1 職能給は評価基準表により算出されたものとします。
- 2 諸手当は、皆勤手当とします。
- 3 賞与は授産収入の状況に応じて支給します。

(支給額)

第4条 工賃は日給制で、支給額は、次により算出した額とします。

- 1 職能給 評価基準表により利用者の作業態度及び作業能力を評価した点数により設定し、設定された単価に出勤日数をかけたもので算出をします。
- 2 皆勤手当 月毎に支給をします。
- 3 ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウィルスの欠勤支給
発症日より2週間内の作業日については日給を支給する。皆勤手当は欠給とする。尚、給食は3日間を徴収する。

(支給日)

第5条 毎月の工賃の支給は、月末を締め日とし、翌月5日を支給日とする。賞与は、7月と12月に支給する。但し、支給日が休日にあたる場合は、翌日を支給日とします。

(勤務)

第6条 1日の勤務時間は、各作業毎に設定。半日以内の遅刻、早退については、2分の1出勤とします。また、半日を超える遅刻・早退については欠勤とします。

(作業評価)

第7条 作業評価は、別表の工賃評価基準により評価するものとし、年度末(3月)に評価会議を開催して評価を行います。但し、特に必要がある場合は随時評価の見直しを行うものとします。
新規利用者の作業評価は、利用開始から3か月後に行うこととします。

(評価会議)

第8条 評価会議は、工賃評価基準をもとに審議するものとし、施設長、管理者、サービス管理責任者、作業及び生活支援者等により構成します。

(諸帳簿)

第9条 工賃の支給状況を常に明確にするため、次の簿冊を備えるものとします。

- 1 工賃集計表
- 2 作業日誌
- 3 作業評価表

(特別休暇)

第10条 利用者に次の各号のいずれかに該当する事情が生じた場合または願い出により、所定の日数の特別休暇が与えられます。また、特別休暇は有給とし、その間に休日があるときはこれを控除する。

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1 本人が結婚するとき | 5 日以内 |
| 2 子が結婚するとき | 3 日以内 |
| 3 配偶者が出産するとき | 3 日以内 |
| 4 配偶者、父母、子が死亡したとき | 3 日以内 |
| 5 兄弟姉妹、配偶者の父母が死亡したとき | 3 日以内 |
| 6 祖父母、叔父叔母が死亡したときは無給とするが、皆勤の対象とする | 3 日以内 |
| 7 これにかかわる欠食については請求の対象としない | |

(その他)

第11条 この規定に定めていない細部の事項については自治会及び職員会で協議の上で対処する。

附則

この規定は、平成21年4月 1日から施行する。

この規定は、平成22年4月 1日から一部改定して施行する。

この規定は、平成24年1月 1日から一部改定して施行する。

この規定は、平成26年7月 1日から一部改定して施行する。

この規定は、令和 3年7月30日から一部改訂して施行する。

令和5年度 工賃実績・令和6年度 工賃目標

蒼空舎：就労継続支援B型

事業	員数	工賃実績 (令和5年度)	工賃目標 (令和6年度)
畑	9人	27,453円	30,000円
手袋	10人	18,418円	21,000円
野菜工房	16人	27,816円	32,000円
清掃	4人	29,980円	30,000円
一般就労併用者	2人	3,610円	3,600円
平均	41人	24,653円	28,000円

第2 あおぞら：就労継続支援B型

事業	員数	工賃実績 (令和5年度見込み)	工賃目標 (令和6年度)
第2 あおぞら (清掃7名 店舗7名 外回り5名 配達1名)	20人	21,809円	22,000円
平均	20人	21,809円	22,000円

給与を労働時間数で割り、5時間労働、22日勤務で計算している。

(給与÷労働時間数×5時間×22日+皆勤手当1000円)

給食弁当

ライフ・ステージ 蒼空舎
あおぞらセンター
第2あおぞら

食品衛生責任者：久米ゆかり

1、年間計画

蒼空舎厨房では、毎日120食前後のお弁当を3人で調理し、各施設へ配達しています。

給食部年間計画としては、4月に栄養所要量の算定を予定し、年1回嗜好調査を実施します。毎月調理従事者は腸内細菌検査を実施します。(代替で入ってくれる人にも実施します。)

嗜好調査に関しては、全てを受け入れる訳にはいきませんが、嫌いなものは少量からはじめ偏食がなくなるよう支援します。アレルギーに関しては、確実に除去食での対応を実施します。(アレルギーの人、10名)

誤嚥の心配な利用者さんや、手の不自由な利用者さんには、きざみ食にし、献立は随時話し合いをして無理なく工夫していきます。

2、地産地消

畑班と話し合いながら、自家農園(蒼空舎 畑)で取れた新鮮野菜や、四季折々の旬の食材をできるだけ献立に多く取り入れるようにしています。又、他の食品についても、国産にこだわり今後も安全な作物を多く使っていきます。あおぞらの加工品も多く取り入れ食材費の節約に努めるようにします。

3、衛生について

「HACCPに沿った衛生管理」の制度化に伴い、衛生管理の実施状況の記録、保存等を行い食中毒の予防に努めていきます。食品の納入時には、表面温度もチェックし、食品の加熱加工冷却温度を計り、記録していきます。床や器具、テーブルは毎日清掃やアルコール、熱湯消毒をし安全衛生には十分気を付けて作業を行っています。又、個人の衛生点検表を記入し、常に意識を持って仕事にあたります。食

堂はコロナ対策としてアクリル板を設置しアルコール消毒し感染予防に努めていきます。

4、環境、防災への取り組み

揚げものの油に使用した廃油は、外部委託によって、飼料や洗剤の原材料にリサイクルします。生ゴミは、畑の肥料にして、減らすように努めています。

急な災害時等に対応していくため、平常時からBCPを準備しておき、備蓄品（米10袋、簡易食品等）を備えるようにする。

給食に関する基本情報

「バランスの取れた食事と安心の食材」

- ・利用者さんの身体状態を把握、毎日の献立が年齢別、性別、労作に見合った内容となるよう工夫努力をし、できるだけ望ましい食事の提供に努める。
- ・季節のものを多く取り入れ、彩りはもちろんのこと栄養面についても考える。メニューも飽きが来ないように少量多種を目標に献立を考え、できる範囲で行事食もと入れ美味しく安全な弁当作りをする。又、節季には季節感を大事にした特別弁当を用意します。
コロナ緊急時には、緊急対策弁当で居住事業所と連携対応します。
- ・献立を各家庭、グループホームに配布し、1日3食バランスの取れた食事の参考にしてもらう。

グループホーム〈共同生活援助・包括型〉

ライフ・タウン あおぞらホーム
ライフ・タウン 蒼空舎

サービス管理責任者：杉本 郁

令和6年度事業の概要

1. 事業目的

共同生活援助（包括型）事業の円滑な運営管理を図るとともに、共同生活住居において、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な障害福祉サービスを提供することを目的とする。

2. ライフ・タウン23ホーム配置

—— ライフ・タウンあおぞら ——

① あおぞら第一	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H11年10月	(定員5名)
② あおぞら第二	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H11年10月	(定員5名)
③ あおぞら第三	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H12年10月	(定員4名)
④ さわやか	高知市朝倉甲	法人住宅	H13年10月	(定員5名)
⑤ ふれあい	高知市神田	県営住宅	H14年10月	(定員5名)

⑥ 若いづみ	高知市朝倉丙	マンション	H18年 4月	(定員4名)
⑦ ひまわり	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H20年10月	(定員3名)
⑧ つくし	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H21年 4月	(定員6名)
⑨ ふきのとう	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H21年 4月	(定員6名)
⑩ たんぽぽ	高知市朝倉丙	マンション	H21年 4月	(定員4名)
⑪ 野の花	高知市神田	リードハウ	H21年10月	(定員6名)
⑫ ほの風	高知市神田	リードハウス	H22年 3月	(定員5名)
⑬ みづき	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H23年 1月	(定員5名)
⑭ 野うさぎ	高知市朝倉甲	法人住宅	H23年 7月	(定員5名)
⑮ よさこい	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H23年11月	(定員5名)
⑯ ひだまり	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H23年11月	(定員4名)
⑰ なごみ	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H25年 3月	(定員2名)
⑱ ひづき	高知市鴨部	コーポ朝日Ⅷ	H25年 3月	(定員5名)
⑲ ときわ	高知市鴨部	シティ次郎丸	H25年 3月	(定員4名)
⑳ ひより	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H26年 3月	(定員4名)
㉑ まほら	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H26年 3月	(定員4名)
㉒ あかり	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H27年 3月	(定員4名)
㉓ のどか	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H27年 3月	(定員4名)

定員104名

—— ライフ・タウン蒼空舎 ——

① オリーブの家	高知市春野町平和	法人住宅	H29年11月	(定員4名)
② オリーブの丘	高知市春野町平和	法人住宅	R 2年 1月	(定員5名)

定員 9名

3. 支援者の体制

管理者1名、サービス管理責任者5名、25ホームに専任の共同生活支援員22名、代替兼任の家庭支援員10名、夜間巡回支援員26名、日常生活支援員専任11名 委託看護師5名 他

4. 節季・生活の彩り

<年間行事計画>

- ・お花見
- ・ビアホール
- ・高知コーラス合笑団
- ・もちつき
- ・迎春・初詣
- ・各メンバー誕生月にお誕生日会及び外食

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、平時の行事を実施していきます。

5. 見学・体験入居・ショートステイ

特別支援学校等の校外学習・P T A等の見学の受け入れグループホームの空室を活用した体験利用などを実施し、安心して地域生活に移行できるよう支援します。

6. 高知保護観察所委託業務

地域移行を目指した「自立準備ホーム」への提供

7. 夜間支援・防災警備

夜間体制については夜間支援員を配置し、夜間の見回りを行うと共に2事業所に宿直者各1名を置きます。

警備会社のオンラインセキュリティサービスを採用し24時間の防災監視について委託。異常を感知した際は、警備会社コントロールセンターに自動通報され、警備会社の緊急対応員が最寄りの発進基地より現場急行し必要な処置を行うとともに、施設管理者及び宿直者へも連絡されるシステムとします。

8. 防災計画・訓練

・年4回【5月・8月（水害）11月・2月（地震訓練）】の防災訓練を実施し、日頃から避難路・避難場所の確認など防災意識を持って頂き利用者が速やかに避難できるように取り組んでいきます。併せて防災設備が、有事に際し有効に機能するように日常の保守点検を行います。

- ・地域の防災訓練への参加
- ・夜間の消防立ち合い訓練の実施
- ・1週間分の災害食・水の確保。賞味期限を把握し朝夕利用し新たな災害食を確保しています。

9・職員の確保

- ・福祉人材の確保に向け様々な採用手段を講じます。
- ・育成・定着と業務効率化に努めます。
- ・分掌部会に人事部会を設け、専門学校、生涯現役等、幅広い層から人材を募るとともに、地域の高齢者の働く場として地域貢献を目指します。

10. 家賃補助

特別支援学校等卒業後の無年金者や、就労移行を目指しているが、すぐには収入が得られない方などに法人独自の家賃補助を行います。

11. 配食事業

グループホーム配食部お試し

1 2. 支援の重点課題

(1) 利用者支援の充実

利用者の人格を尊重し、利用者の意見を最大限に取り入れます。

- ・意思決定支援

アセスメントを丁寧に行い「可能な限り利用者が意思決定できる」ことを支援します。

- ・必要な情報の説明は、利用者が理解できるように工夫して行います。
- ・利用者の意思を尊重しようとする態度で接します。
- ・ご本人が生活目標を持って、その人らしく暮らせるように支援を行います。

(2) 人権の擁護

利用者への行動制限を行うことが虐待への第一歩となることを意識し、適切な支援の推進に取り組みます。また、身体拘束についての研修等を実施し、虐待防止・権利擁護と同等の意識を持てるようにします。

- ・利用者の人格尊重、人権に即した支援に努めます。
- ・言葉による拘束、物理的拘束、を理解します。
- ・自分の言葉かけ、支援（行動）を客観的にみて改善します。

(3) 業務継続計画（BCP）策定

- ・感染症と非常災害の業務継続計画の策定

(4) 虐待防止措置

- ・虐待防止委員会を定期的開催するとともに、その結果について従業者に周知徹底を図ります。
- ・従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的開催します。
- ・上記措置を適切に実施するための担当者を置きます。

1 3. 懸案の「春乃群青」

念願叶い日中と居宅 2 事業の建設について 3 月末国からの内示を頂きました。力を合わせて障害の重い方への支援に取り組んでいきます。

相談支援事業

ライフ・サポート あおぞら

指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

指定一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)

相談支援専門員：林 幸孝

1、人員について

- ・相談支援専門員 専従2名 兼務4名 サポート支援員 1名
- ・研修や各自自治体が実地している連絡会や会議等に参加し、他事業所や業種の方々との連携を図ると共に相談支援専門員としてのスキルアップを行っていく。また、事業所内でも勉強会を適宜行うなどして底上げを図っていく。

2、5年度の実績と6年度の予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
有期・新規	23件	32件	21件	21件	11件	12件
モニタ	23件	12件	37件	25件	35件	16件
高知市調査業務	10件	9件	8件	7件	5件	8件
特地加算	9件	11件	12件	12件	7件	5件

令和5年度実績詳細

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有期・新規	9件	15件	12件	15件	13件	25件
モニタ	28件	34件	23件	26件	44件	21件
高知市調査業務	9件	8件	16件	14件	19件	15件
特地加算	6件	16件	4件	10件	8件	12件

令和5年度請求実績

有期・新規	$209 \times 16,720 = 3,494,480$ 円
モニタ	$324 \times 14,100 = 4,568,400$ 円
高知市調査	$128 \times 10,000 = 1,280,000$ 円
特地加算	$112 \times 2,120 = 237,440$ 円
いの町委託	4,000,000 円
その他加算等	

令和6年度予定

有期・新規	$\overset{\text{※1}}{210} \times 18,220 = 3,826,200$ 円
モニタ	$\overset{\text{※1}}{330} \times 15,600 = 5,148,000$ 円
高知市調査	$\overset{\text{※2}}{130} \times 11,000 = 1,430,000$ 円
特地加算	$115 \times 2,120 = 243,800$ 円
いの町委託	$\overset{\text{※2}}{4,400,000}$ 円
その他加算等	

- ・報酬改定により機能強化型Ⅲの単価が上がる。※1
- ・委託料や調査業務に消費税分が追加される。※2
- ・有期、新規、モニタ、調査件数などは今年度同様か少しプラスした件数を予定している。
- ・可能な加算を取ることでさらなる収入アップが見込める。

3. 課題

- ・業務上書類に追われることが多くなっており、直接的な関わりが以前に比べたら減っている。また、業務縮小や撤退の事業所が多く、1つの事業所に対して件数が増えている。区分調査や新卒の関係で年度末に対応する人数が年々増えており、月によっての業務量の隔たりが見られる。

障害者支援活動

社会福祉法人こうち福祉会

- ・事業別支援会議を月1回以上、運営委員会を月1回開催し、情報の共有化、支援技術の向上を計ります。また、内部分掌部会（研修や事業、防災など）を月1回行い、法人全体の情報を共有していきます。
- ・家庭との連携による支援体制の強化に勤めます
- ・利用者の置かれている環境及び、日常生活全般の状況等を通じて利用者及び、その家族が希望する生活や課題を明らかにするため、アセスメントを丁寧にとっていきます。適切な支援内容の把握に基づき到達目標を設定し担当者会議を経て個別支援計画を作成します。また、6カ月以内にモニタリングを行い必要時に応じて、支援計画の変更を行っていきます。
- ・法人研修として、専門知識を持って支援にあたれるよう、継続して強度行動障害研修を行っています。また、虐待防止や権利擁護の研修にも参加し、年1回以上は身体拘束委員会や虐待防止委員会を開催していきます。
- ・法人全体をICTで繋ぐことで、情報の共有をしていきます。

利用者の地域生活活動

- | | |
|----------------------------|---------|
| ・自治会（基本的に毎月1～2回実施する。） | ・障害者作品展 |
| ・中部地区施設交流会 | ・カラオケ |
| ・旅行（年1回、日帰り旅行又は一泊旅行を実施する。） | ・流しそうめん |
| ・もちつき大会 | ・BBQ |
| ・プールや川遊び | ・映画鑑賞 |
| ・創作活動 | ・花見 |
| ・あおぞらで歌おう | ・スポーツ大会 |
| ・体操教室（あおぞら体操、いきいき100歳体操） | |

※上記以外にも生活のメリハリをつけるためにも四季折々の行事は取り組んでいく。

安全・衛生活動

- ・防災避難訓練
年3回実施（消防署立会い・1回、自主訓練・2回）

- ・健康診断
年1回実施
- ・給食、食事指導
咀嚼、偏食の指導
歯磨き指導
- ・自転車点検 月1回実施
- ・衛生指導 感染症の予防（手洗い、うがい等）
施設内の消毒、検温

職員構成

管理者・・・・・・・・・・5名（兼任）
 事務長・・・・・・・・・・1名（兼任）
 サービス管理責任者・・・・・・・・10名
 （あおぞら・2名（兼任）、蒼空舎・2名（兼任）、第2あおぞら・1名（兼任）、
 あおぞらホーム・4名（兼任）、ライフ・タウン蒼空舎1名（兼任））
 相談支援専門員・・・・・・・・6名（専従2名、兼任4名）
 相談支援助手・・・・・・・・1名
 支援員・・・・・・・・18名
 （あおぞら・6名、蒼空舎・9名、第2あおぞら・3名）
 共同生活支援員・・・・・・・・22名
 （あおぞらホーム・20名、ライフ・タウン蒼空舎2名）
 日中生活支援員・・・・・・・・10名
 看護職員・・・・・・・・2名（嘱託1名、非常勤1名）
 調理員・・・・・・・・3名
 （あおぞら・1名（栄養士）、蒼空舎・1名（栄養士）、第2あおぞら・1名）

計 81名（68名）

嘱託医・・・・・・・・・・1名
 委託看護師・・・・・・・・・・3名
 会計士・・・・・・・・・・1名
 講師（体操、ちぎり絵、合唱）・・・・・・3名
 家庭生活支援員・・・・・・・・・・9名
 夜間支援員・・・・・・・・・・27名